

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	月丘後橋	氏名	松田 彩花
セミナー名	DH 横田先生による 講義 講義 “メンテナンスで何を診るのか”		
セミナー内容	・メンテナンスの目的 → 口腔の健康を長期的に安定させること。 ① カリエス ② パリオ ③ カ のコントロールが重要 ・①～③ の基礎知識 ・メンテナンスで注目すべき部位、口腔内の状態 (① カリエス ② パリオ の好発部位 ③ トリクルに発症しやすい部位、プラッタや咬合、コンクワの咬合 インプラントやボイツの状態のチェック)		
感想	カリエス、パリオ、カ の基本的な知識の復習になり、日々メンテナンスをこなしていく中で、人々の口腔内の状態を把握し、それに合った処置、指導を兼ねながら行うことが重要であると再度認識しました。カリエスリスクである生活習慣や唾液量、パリオリスクであるプラークコントロールについては、患者様に理解してもらえるように伝えることが大切ですが、カのコントロールについては最近感覚を注意深く行うようにして、た部位でもあったので、さらに知識を深めることになりました。TCHの説明をあると意外と驚く患者様も多いので、自覚の無い患者様には、カによってカリエス、パリオが進行していることや、歯を壊していることを伝えたいと思いました。 また、メンテナンス時に注目すべきカリエス、パリオ、カの好発部位など、問題となりやすい場所、起きている部分を把握し、長くメンテナンスを担当している患者様の小さな変化にも気付いていく		
備考	より努力していきます。 また、TCHではどうしても同じような内容で行うことが多くなっている ので、患者様の生活リズムや使用器具、それに伴っている口腔内の状態、人によって、その人に合った指導方法を考えたいと思います。		

プラーク
コントロールできて
いるか

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	肥後橋	氏名	本田 里乃
セミナー名	メンテナンスでは何を診るのか		
セミナー内容	口腔の健康を長期的に状態を安定させることがメンテで行うクリーニングが一番大事というわけではない。 DMが起る仕組み - 炎症のコントロール → カリエス原因菌を抑制させない - 力のコントロール → パリオはプラークコントロールが重要 - リコールチェック → 破壊させない 問診で体調、口腔内の変化、生活の変化、NGの使用状況の確認 診察で問題があるものを早期発見 + 対応力をチェック 好発部位の確認 メンテナンスセルフケアではコントロールしにくいリスク部位を把握する!!		
感想	私はメンテナンスをする際どうも時間との戦いのように感じました。 クリーニングで頭がいっぱいになりすぎていました。 今日の講義を受けてそれではダメだと痛感しました。 カリエスチェックは意識してメンテの際、チェックのやり方が咬合のチェックはあまりしていませんでした。今後はフレミタスも含め、しっかりチェックしていくつもりです。 フレミタスのチェックの仕方などこのセミナーでとても知ることができました。 これから先、ドクターと一緒に確認していきたく思います。 TBIも磨き方や時間によりかなり気をつけて患者様にもそればかり指導していたのですが、使用器具もこれからよく確認し、どのタイプを使っているのかなどしっかり確認していきまう。 とても役に立つセミナーで、またぜひ受けたらいいなと思います!		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	肥後橋	氏名	増田 実希
セミナー名	メンテナンスでは何を診るのか		
セミナー内容	・基礎知識の認識 ・メンテナンスでは何を診るのか ・メンテナンスでは何をやるのか (問診・指導・処置)		
感想	今回の講義を受けて、歯科衛生士は単に歯石除去や、口腔清掃を行うだけでなく、患者様の生活習慣の改善を促し、病気を予防するための役割りを持っていることを改めて実感しました。患者様自身が口腔内への関心を持ち、継続的に虫歯ケアへ取り組めるようサポートすること、歯科衛生士として大切にしていきたいです。また、患者様により良い口腔ケアを提供するためには、歯科衛生士だけでなく、先生との連携も重要だと感じました。そのために患者様の口腔内状態を共有しておくことで、より適切な治療や予防につなげることができると感じました。 今後も患者様との信頼関係を築きながら、一人ひとりに合わせた指導やメンテナンスを提供できる歯科衛生士を目指していきたいです。		
備考	ご講義いただきありがとうございました。		

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	肥後橋	氏名	林 愛子
セミナー名	横田先生の講義 「Xインテグレーションとは何を見るのか」		
セミナー内容	・ Xインテグレーションの目的 → 口腔の健康を長期的に安定させること ・ カリエス、ペリオ、カパの問題の原因 - カリエス → カリエス原因菌を活動させていない... 食生活習慣、唾液量、セック - ペリオ → ペリオ原因菌を居させていない... グラフトコントロール大切 - カ → 破壊させていない... プラゲス、咬合に注意 ・ カリエス・グラフトの好発部位 → 隣接面のマウスと周囲、歯頸部、叢生部、補綴装置のレジデン		
感想	・ ペリオの好発部位 → 隣接面、歯頸部、解剖学的形態(エクスプロジション、コンタクト等) ・ カの好発部位 → 遠心の歯、側方力を受けている歯 ・ カリエス、ペリオ、カの問題を見つけたときの対応... TBIについて 横田先生の講義を聞いて、Xインテグレーション時に見るべきことやポイントと聞くことができた。P検時にポイントの深さよりもBOPの方が大切だと。患者さんとの会話の中で、患者さん自身の背景を知ることが、得られる情報などからより適切な処置やTBIを行うことが出来ることを学んだ。 Xインテグレーション時に見るべきことや、カリエス・グラフト、ペリオの好発部位など、注意すべきことを詳しく知ることができ、理解した上で観察することが大切だと感じた。また、Xインテグレーション時には、好発部位を意識して観察し、小さな変化にも気付くように知識を深めていきたいと思った。		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	花屋	氏名	相馬 菜月
セミナー名	① 診療報酬改定講習会 ② メインテナンスで何をやるのか		
セミナー内容	① 令和8年度からの改正ポイントについて。 ② DHI横田先生による講義。 ・メインテナンスで何をやるのか。 { 基礎知識 ・カリエス、パリオ、カハの対応 { どんなところをやるのか。 ・何をしたいのか。 各々の好発部位。リスト部位への治療指導。 ・補綴装着、インプラントのチェック ・問診で確認すること（食事習慣、唾液量、フッ素の使用状況） ・施術の指導でのポイント（使用の器具の選択など）		
感想	① 休む時間が足りず改定ポイントを知るために参加したが、思っていたより変化は少ないように思われ、また今後とも随時変更されると思うと不安に陥り、定期的には自分でも調べて、追いついていこうと思った。 ② カリエス、パリオ、カハに対しての知識と影響を受けやすい好発部位について改めて学び、それに対してどのような点に注目して治療していくのかを復習して学ぶことが、とても分かりやすかった。すでに気づいている問題ではなく、リストが高くなると、トラブルが起きるかもしれないと事前に気づいて注目して対応することで予防できたり、より早期発見、治療へと繋がることも分かり、またカリエス、パリオ、カハ各々単体と原因として考えるのではなく、組み合わせから発症するリストについても考える必要がある。ハシトでは基本的に30分でメインテナンスを回していただく、その中で口腔のチェックができる時間が限られているため、7割の満ちはあるかもしれないが、必ずどこか見落としを無くしトラブルを減らしていきたい。今回の講義で大切なポイントを学べたためより効率的にチェックできるので良かったと思う。		
備考	口腔トラブルが起きる原因を突き止めることも大切だと思ったし、それを患者本人と共有することも大切である。原因がそれぞれ違うのに対応も何通りものため、メインテナンスやTBEにもある意味正解はないと思うし、常に変化し続けるものであると思った。		

時間と理由に選択が違えば、材料の使い方を誤ったり、制限して
しるのも患者のためにはならないとも感じたので、改めてインタビューの
内容や時間の使い方を見直すべきを思ひ。

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	花園	氏名	梅垣美幸
セミナー名	横田先生による講義、保険点数について		
セミナー内容	・メインテナンスの目的 = 口腔内の状態を定期的に安定させる事が必要なのは炎症のコントロール + p のコントロールである。 歯が落ちる原因として ①カリエス ②パリオ ③力 (破壊させる) のが 大半 主な原因である。 ・メインテナンスでは何をやるか カリエスの発生部位、ポット of BOP、パリオの発生部位、咬合力のチェック、インプラントのチェック。 ・メインテナンスでは何をしたらいいのが ①問診 ②指導 ③処置、保険点数の改善について。		
感想	口腔内について 基礎的 的な知識を改めて学びました。 糖だけでなく炭水化物も含まれているので、自分自身も気を付けたいと気付かされたと思いました。食生活習慣と唾液量がカリエスに繋がるので、患者様の TBI でも改めて話していこうと思いました。 またパリオはいい pY=菌を居場所させないのが大半なので、磨き方の指導、歯ブラシの選び方を伝えていく事を心がけたいと思います。他にも咬合状態も大半でブラキシズムが歯が落ちる原因に繋がっている。メインテナンス時にチェックするよう意識します。 フアンクショナルとは主で問題では無いが、パラフアンクショナルは歯の接触が長くなる事が多いので、オクシクルスに繋がるので、注意を促す事が大事だと思いました。カリエス + カドマインロウワークと起るパリオ + カド垂直性骨欠損が起るので、これもメインテナンス時にチェック		
備考	お時間が大事だと改めて感じました。30分で全部行うのは難しいので、歯磨きなどは必ずチェックし、指導していきたいと思っています。		

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	花園分院	氏名	下山 侑
セミナー名	Whisper 診療報酬改正講習会. DH 横田 先生 による 講義 "メンテナンスでは何を診るのか"		
セミナー内容	2026 年 6 月 から改正の 診療報酬点数 について 「メンテナンスでは何を診るのか」 メンテナンスの目的は口腔内に長期的に安定させること。 カリエス・パルプ (炎症のコントロール)、咬合・顎 (パフォーマンス)。 基礎知識の確認		
感想	カリエスの発生について もう一度レクチャーして頂くことがとても大切。 糖質の代謝ではよく炭水化物にも気を付けて 患者指導、 栄養指導をしていく必要があること。かかりつけで 咬合について詳しく説明して頂くことは、学校や授業や 教科書でも理解しにくいところ。 「ラキシス」として行っている時は開口反射が起きる「絶え」 歯にダメージを与え続けているとその蓄積で「破綻」状態に なってしまうと理解できた。 ロッキングショウを予防してコントロールして頂くことが重要。 POP 起こることも 3-4 日程度で停滞してしまったり レクチャーでコントロールして頂くことが 3-4 日で改善して頂くこと 患者様にレクチャーして TBF を行うようにして頂くことが大切。		
備考	MSB について 初めに知った検査方法が、 IPX の際に一度取り戻すことが大切。		

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	ハシモト花園	氏名	上甲 ひなの
セミナー名	診療報酬改正講習会		
セミナー内容	基本診療料の改定 ・ 4年1回、「抗菌薬の適正使用」を受講。 薬 医学管理料の改定（歯管、実地） 歯周病治療（P継続支援治療、P治療流れ） リハビリテーション（小児保腎装置の新設） 処置（口腔内装置、小児保腎装置、ホテツ除去料、CAD対応拡大		
感想	患者の状態により加算される項目がこんな状況にあること を知らなかったため、良い学びになりました。 加算される細かい条件をすべて覚えることは困難なので、 項目を覚えておいて、担当患者が当てはまる可能性があった 場合には細かい条件を確認して加算する必要があると感じた。 超高齢化社会の中で、健康寿命の延伸が重視されている ため、DHとして予防処置をし、行うとともに、同僚医師の 口腔機能管理について理解を深め、医科歯科連携を行い、 患者の口腔だけでなく全身のQOLを上げることに重要だと 感じた。		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	花園	氏名	中島 ひろ子
セミナー名	法令療養報酬改正講習会		
セミナー内容	口腔機能低下症、口腔機能発達不全症の点数の変更。 ・固形期等口腔機能管理料。 ・補綴物、口腔内装置の処置にエスエフ。 ・CAD/CAM イー、クローズド対象拡大。 ・11752、CTの点数変更		
感想	歯科医師として働く上で、保険点数について 知っておく事は大切だと思ひ今日この講習を お陰でしてとても良い経験にエスエフ。 病気の為、高齢者では、患者により、取れる点数が異なして くるし、高齢化により、高齢患者もどんどん増えてきているので 歯科医師として知っておくべき事はたくさんある。 上からいえる事だんだん増えてくると、より分取れる点数も 増えてくるので、今のうちに有益な情報を沢山知る事は できてとても学びにエスエフ。 本日はありがとうございました。		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	忠岡分院	氏名	金谷内 舞
セミナー名	メンテナンスでは何を見るのか		
セミナー内容	メンテナンスの目的：口腔内の健康を長期的に安定させること。 炎症のコントロール 健康 カのコントロール ・プラーク、パリオ、カリエス 咬合圧力 カリエス → 食生活、唾液量 パリオ → プラークコントロール カ → ブラキシズム、咬合で予防 ① カリエスチェック、 → 好発部位のチェック ② プラークコントロールチェック ③ カの好発部位 → 遠心の歯 傾きかを受けている歯 ★フレミタス 方法：指先当て → クロム → アニマウリ		
感想	これまでメンテナンスというと、歯石除去やPMTCなどのクリーニングを中心に考えがちでしたが、本来の目的は口腔内の健康を長期的に安定させる事であり、単なる清掃処置ではない事を学びました。炎症のコントロールだけでなく、歯肉の連続性や、咬合、補綴装置、インプラントの状態など、多角的な視点で患者さんの口腔内を評価することが重要だと理解しました。 そしてそれと同時に、自分が、メンテナンスの時に意識してみている所を横田さんがセミナーでおっしゃっていて、自信にもつながりました。 どうしても一人だけだと、分からない事や、難しい症例もよくあるので、横田さんがおっしゃった、歯科は、先生、衛生士、技工士と三味一体という言葉を忘れず、積極的に難しい症例にも挑んでいきたいと思いました。技術はとても大切ですが、どんなに技術だけを磨いても、知識や患者さんとのコミュニケーション能力がないと、リピートしてくださる患者さんはいないと思います。様々な観点から患者さんを見て、その方に必要な事は何か、何を言わないといけない事は何か、考える事で、病人の信頼につながると思います。すごく勉強になるセミナーを受講させていただき、ありがとうございました。教えていただいた事をこねわり活かせるよう精神でいます！		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	忠岡	氏名	金田 花夏子
セミナー名	メンテナンスの目的とは？		
セミナー内容	糖 <u>カリエス</u> <u>歯周病</u> <u>力</u> をしっかりメンテナンスでみる ↓ ↓ ↓ 糖 フラウエナール プラキゾル、咬合 ①他に 体調の変化、口腔内の変化、NGの使用状況の確認もある ①問題が起ころころ ②起きている問題を早期発見 <歯周部位のチェック> 隣接面、ホテツのマージン部、歯頸部、業生部位 <力の歯周部位> 歯心の歯(臼歯部)、側方力を受けている歯(13など 歯肉退縮している歯)		
感想	育児休暇を取っていたこともあり、復帰後 技術のことばかりに目がいてはいたが、改めてセミナーを聞くと、見落としがちなところやいくつかあったので、そこでためにはり、早速次の日から取り入れてみた。ここはやっぱりいい。 →実際に患者さんへの説明で昨日の講義の内容を説明すると、なかなか説明できず、納得してもらえました。 日常の会話を聞けるのが苦手で、どうしても口腔内の現状も伝えることができていざせんでしたが、コツを教えて頂いたの(口腔内の状況から生活習慣に結びつける)これなら苦手な私でもできるなと感じました。 昨日の講義を元に、色々な知識を取り入れられるよう勉強をして横田先生のお話、歯科衛生士になりたいと思いました。 Drや他の衛生士とも もっと患者さんの口腔内について相談や検討が必要だなと思いました。		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	忠岡	氏名	鳥野 瑠花
セミナー名	メンテナンスについて		
セミナー内容	・ メンテナンスの目的とは (メンテナンスする上で大切なこと) ・ 基礎知識の確認 ・ メンテナンスでみていくことについて		
感想	・ 口腔の健康を長期的に継続させることが大切になってくると学びました。 そのためには、炎症のコントロール、力のコントロール、リコールが重要になってくるのですが、炎症のコントロール(炎症コントロール)は最近力を入れてしてるのですが、力のコントロールの部分はまだあまり注目できてなかったなと感じました。 今日で力のコントロールもすごく大切で、Cセプにも大きくかかわってくることも学べたので、しっかり口腔内の小さな問題にいち早く気づき、大きな治療にならないように、日々のメンテナンスが大切になっていきたいと思います！ブラキシズムについても勉強したいなと思います。もっと勉強になりました！		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	忠岡 分院	氏名	川口 ことの
セミナー名	メンテナンス について		
セミナー内容	- メンテナンスの目的は口腔の健康を長期的に安定させることであり、クリーニングをすることが一番ではない。 - 長期的に安定させるには 1. 炎症のコントロール 2. 歯列の連続性 3. 良好な咬合支持 4. カのコントロール 5. リコールチェック が大事になる。 - カリエスに なる 食品は 砂糖、ブドウ糖、単糖、乳糖 のみでなく、炭水化物 も含まれる。メンテナンスでは、食生活習慣、唾液量をチェックする必要がある。 - 唾液量が少ない人は、口呼吸、カフェイン、アルコールの過剰摂取、喫煙、摂取水分の不足、不十分な咀嚼回数 がないかチェックする。 - 歯周病の原因菌は、ポケット内で常に毒素を出しているためプラークの量が少く、毒素の量が増える。なので、プラークコントロール が大事。		
感想	カリエスリスクが高い患者様に 対して、ブラッシング指導を主にしてきました。唾液量や食生活については あり 問診で 聞いていた ためと セミナーを受けて 気がよした。カリエスの原因となる食品は糖だけでなく炭水化物 がある ことに 気づきました。唾液量が 少ない人は 生まれつきのもの だと思っていたので咀嚼回数 が 少ないと 減ってしまうのだと 知って 驚きました。 私自身も唾液量が 多くないので一度咀嚼回数を 増やしてみよう 変化するか 確認してみよう と思いました。 口腔内を チェック する時、今までは C が 多い。歯周病 がないか を X 線に見ていました。咬合状態 は あり チェック できて いませんでした。 くいしばりや ぎざり が あり そう だと 思っていて LG を すすめたり していました。どこか 強く 当たっているのか、ぎざり した 時 臼歯 が 離れているのか、前歯の咬合状態 が 正常 なのか、コタクトの 後み は ないか、補綴物 が 浮いて いるのか 等 どこを見れば いいのか あり 理解 できて いた、なので 今回の セミナー で そこを 詳しく 伺えて 良かった と思います。 30 分の メンテナンスで 全てを 一気に見ることは 難しい かもしれない けれど、患者様に 合わせた 指導や 問診を ピックアップ して できるように これからも 頑張ります。		
備考			

セミナーレポート

令和 8 年 6 月 11 日

所属	忠岡	氏名	西田 理子
セミナー名	メンテナンスでは何を見るのか。		
セミナー内容	今回のセミナーでは、メンテナンスの目的は単なるクリーニングではなく、「患者様の口腔内の健康を長期的に安定させること」であると学んだ。 ・カリエス、パルパ、パの基礎、それぞれの原因と対策。 ・メンテナンス時にチェックするポイントやどのような検査をすること、予防することができるのか。 ・これをどのようなコミュニケーションを取ることで伝えるのか。		
感想	今回のセミナーを受講して、メンテナンスは単に歯石除去やクリーニングを行う場ではなく、患者様の口腔内の変化を早期に発見し、長期的な健康維持につなげるための重要な機会であることに改めて実感した。 健康を維持するためのコントロールは、カリエス、歯周病、咬合などの問題が別々に影響しているのではなく、互いに影響し合っているから口腔内の環境を変えていくことが必要だった。この事を患者様に理解してもらうためには毎月のメンテナンスで何度もコミュニケーションをとり理解してもらう事が大切であると考えた。 また自分自身、カリエス、歯周病、咬合とは何か、なぜこの問題が起るのか、どうしたらその問題が解決するのかを日々の臨床と結びつけていながら理解を深める必要があると考えた。 また、口腔内を見るだけでなく、生活習慣や患者様の背景までを含め評価が必要であることを再確認した。 今後はメンテナンス時に検査結果を記録するだけでなく、「なぜその変化が起きたのか」「将来的にどのようなリスクにつながるのか」を考えながらメンテナンスを行いたいと思う。患者様が自身の口腔内に興味を持ってもらい、セルフケアの継続につながるようなコミュニケーションをとれる歯科衛生士になれるように精進したいと思う。		
備考			